



## 今年も、歴史の薫るまちづくり

### 「まちづくりを振り返り」

二川宿まちづくり会 会長 山本 剛生

まちづくり会は平成18年春、東町まちづくり会の発足がスタートで、8年が経過。まち並み景観が少しずつですが変化し、地域住民によるまちおこしも活発となり、起爆剂的な役割を担ったと感じています。

これからは活動のテーマ「歴史の薫るまちづくり」を忘れずに活動を継続しますので、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

### 「彩りで街道の魅力を高める」

大岩町東まちづくり会 会長 白井満春

まちづくり会の活動により街道の魅力が高まり、見物する人々が増えてきたように思います。

今年もプランターへ葉牡丹など季節の草花を植えたり、家の軒先に灯籠や行灯を飾りつけるなど、街道沿いに彩りを添え、二川宿の街道の魅力をさらに高められるような活動を引き続き行っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



## 特集 景観まちづくり「5年」を振り返る。

5年間の実績

旧東海道二川宿のまち並みを考え、取り組んできた「歴史の薫る美しいまち並み景観まちづくり」。市の助成支援が始まって5年が経過した今、これからのさらなる活動に向けて今までの効果や影響を振り返ります。

景観に配慮した 工事数	助成件数
54	25

### ◆まち並みが良くなった！

取組み前は、年々歴史的なまち並み景観が失われてきましたが、この5年間で住民協定や市の計画に沿った建替えや改修が進み、宿場町の遺構（本陣・旅籠・商家）のあるまちとしてふさわしいまち並みへ再生しつつあります。

### ◆お店ができた！

歴史の薫るまち並みづくりに魅力を感じ、新たに店を出す人が現れています。

### ◆住むひとが増えた！

ここちよく誇りの持てる美しいまち並みづくりに魅力を感じて、二川のまちへ移り住む人ができています。

### ◆街道の魅力アップ！

街道沿いに花々や行灯、つるし飾りなどが飾られるようになり、潤いや趣きが年々向上しています。また「灯籠で飾ろう二川宿」など新たな活動も生まれてきました。

### ●課題

#### 歴史的な建物が減少している。

老朽化による建替えや解体などにより、宿場町の面影を残す歴史的な建物が減少しつつあります。二川の特徴である「切妻平入り」の民家を残し、守っていくにはどうしたらいいか、皆さんと考えていきたいと思っております。

### ●市役所からのお知らせ

工事の助成金制度をご活用ください。詳しくは裏面へ。

## トピック

# 「西駒屋」国の登録有形文化財へ

「西駒屋」の主屋と土蔵が国の登録有形文化財に登録される見込みとなりました。「西駒屋」は本陣資料館の正面に位置し、まち並みとしてとても重要な場所です。そこで今回、文化財登録に向けて三代目当主の田村さんに建物やまちづくりへの思いを聞いてみました。

## 「まちづくりの後押しをしたい」

### 田村哲朗さん

みなさんまちづくりを一生懸命やっていたら、本家の「駒屋」も現在改修しているということで、うちも二川のまちづくりの後押しをしよう、できたらいい、と思い進めてきました。

文化財ということで、いろいろな規制がかかるのではないかと、心配もありましたが、それほどきびしくはなさそうということがわかってきました。

これからも商売も続けていきたいし、建物も外観を変えずに頑張っていていきたいと思っています。



「西駒屋」・・・主屋は明治後期に街道面より一段高い盛土に建設され、間口6間半、奥行き6間。室内は軽微な改築が行われているが、街道に面する格子、出入口、軒、屋根などは建設当時の姿が忠実に残されており、旧二川宿の景観を構成する重要な建物である。現在はみそ・しょうゆ販売業を営んでいる。

### 登録文化財とは

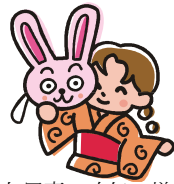
建設後50年以上を経過した建造物で

- (1) 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- (2) 造形の規範となっているもの
- (3) 再現することが容易でないもの

## ◆◆お知らせ◆◆

◆今年も二川宿まちづくり会が『夜店』を開催します。

平成26年8月9日(土)・10日(日)  
午後6:00~8:30 場所「二川宿まちなか公園」



左写真：昨年の様子

◆今年も『灯籠で飾ろう二川宿』が行われます。  
平成26年7月26日(土) 午後7時~9時

◆「二川宿のまちづくり」のホームページがリニューアルされました。詳しくは豊橋市都市計画課のホームページ内  
<http://www.city.toyohashi.lg.jp/14670.htm>

## ●市役所からのお知らせ

工事内容が景観形成の基準に適合する場合は、工事費の一部に助成金ができます。**外壁の塗り替え、外観の過半の改修、歴史的建築物では小規模工事でも助成金ができます。お気軽にご相談ください！**（なお工事前には届出が必要です。）くわしくは、豊橋市役所都市計画課景観グループ（51-2616）まで

## コラム

### まち並みとしての「駒屋」

#### ●外壁の高さと瀬古道

通りやまち並みの印象は、建造物の種類や素材、色彩などさまざまありますが、道の幅(D)とその両側の建物の高さ(H)との比率(D/H)が景観に深く関わっています。道幅に対して建物が高ければ空の見える面積が小さくなりますし、低ければ解放的に感じられます。ここは細い道幅に対して駒屋の外壁が高いため、この比率がとても小さいといえます。駒屋の外壁が、瀬古道特有の魅力的な雰囲気にも寄与しているのです。

#### ●格子でにじむ「うち」と「そと」

市指定文化財商家「駒屋」の工事が一部が完了しました。今回は「駒屋」を景観の視点から眺めてみます。  
格子は通りに面して設けられ、建物の内部からは外の様子が見えますが、明るい外から中の様子は見え、まち並みとして斜めから見た場合は格子のすき間がなくなり全く見えません。格子は内外をはっきりと隔てるのではなく、にじむように、溶け合うように、ゆるやかにつながる空間を生み出します。この互いが互いの一部だと感じる空間が、美しく趣きのあるまち並みをつくっているのですね。（都市計画課 伊藤）